

熊本市議会
[市民連合]

みなさん、こんにちは 市議会だよりです

2012年冬号
(通算 No.179)
(発行) 市民連合
市議会だより編集部
[議員室] TEL(096) 328-2650
FAX(096) 324-7777

第4回 定例会

増額補正35億8,735万円を可決 「区民会議」新設の付属機関設置条例改正案は否決

第4回定例会は、11月29日(火)から18日間の日程で開催され、181議案を可決・承認し、12月16日(金)に閉会しました。

予算案件では、一般・特別会計10議案を審議し、合計で35億8,735万円の増額補正を可決しました。結果、本年度の予算規模は、一般会計2,750億2,613万円、特別会計1,800億2,222万円、企業会計820億6,163万円となり、総計5,371億1,100万となっています。予算以外では、条例61件、その他89件、人事2件、意見書9件、請願1件を可決。請願8件は不採択でした。

市長「日本一暮らしやすいまち」をめざす

11月29日の開会日、幸山市長は冒頭、上下水道総合管理システムの開発の契約延長に関わる経過の説明等を行い、謝罪と共に今後のシステムの確実な運用継続と、進捗状況等を常時精査していくことを表明しました。また、10月の政府の政令公布により正式に指定都市となることが決定され、今後、「日本一暮らしやすいまち」の実現や九州全体の発展にも貢献できる都市への成長に向けての決意を述べました。

本会議では補正予算に加えて、62件の条例議案について審議しました。議論の結果、指定都市への移行に伴う条例の整備としての「熊本市区の設置等に関する条例の制定」や、県の条例を踏まえた「熊本市暴力団排除条例の制定」等について議論を行い可決しました。ただし、「区民会議」を新設する付属機関設置条例改正案については、「合併から間もなく時期尚早」などとして否決されました。

12月補正予算の主な事業内容は以下の通りです。

【総務部門】

- 消防団員等公務災害補償関連経費(1億2,170万円)
- 東日本大震災被災地支援経費・被災地派遣の職員の旅費(700万円)

○政令指定都市関連嘱託職員事前研修経費(1,600万円)

○区役所関係経費(855万円)

【教育市民部門】

○総合支所・市民センター関係経費(1,053万円)

【保健福祉部門】

○生活保護費 受給者増に伴う増額(22億3,800万円)

○江津湖マンス(仮称)「食と環境フェスタ」開催経費2年度分(500万円)

○老人福祉施設整備費助成 小規模多機能型居宅介護事業所の新設(7施設)の助成(2億6,250万円)

○発達障害者支援センター運営業務委託費4年度分(6,888万円)

○病院局市民病院CTリース経費9年度分(1億5,523万円)

【環境水道部門】

○プラスチック製容器包装収集運搬業務委託経費4年度分(6億1,500万円)

○江津湖マンス(仮称)「環境フェア」開催経費2年度分(500万円)

【経済部門】

○植木町今藤地区工業団地整備経費(3,890万円)

○商店街等プレミアム付商品券発行経費助成経費2年度分(1,500万円)

○江津湖マンス(仮称)開催経費2年度分(2,000万円)

○政令指定都市誕生記念プロモーション経費2年度分(4,650万円)



熊本市を造った加藤清正公の生誕450年を機にイベントが企画されている

明けましておめでとうございます

今年も「市民連合」は、市民の皆様の目線に立って、安全・安心の政令市「くまもと」を目指して取り組んでいきます。



▲(写真左から)西岡誠也、福永洋一、田上辰也、家入安弘、田辺正信、田尻将博、東すみよ、上田芳裕の各議員

○清正公生誕450年熊本城タイムスリップ事業経費2年度分(7,966万円)

【都市整備関連】

○道路舗装等維持補修経費2年度分(4億4,970万円)

○道路路面清掃等維持保全経費2年度分(1億1,100万円)

【一般質問】

市民連合からは上田芳裕・福永洋一両議員が登壇しました。上田議員は「魅力ある政令市くまもとの実現」「中心市街地活性化」など、福永議員は「公共の福祉を守るための施策」「安全安心のまちづくり」などについて、両議員ともに多岐にわたり、鋭い質問を行いました。

採択された意見書

- 「子ども・子育て新システム(保育部門)」に関する意見書
- 外国資本による土地売買等に関する法整備を求める意見書
- 円高から中小企業を守る対策を求める意見書
- 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書
- 災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書
- 子ども・子育て新システム及び幼児教育に関する意見書
- 視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書
- 鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書
- 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

第4回定例会(12月議会) 常任委員会 予算決算委員会 各分科会 報告

総務委員会 田辺正信

東日本大震災の被災地への職員派遣に関する経費、来年4月からの政令指定都市移行に伴う区役所の看板設置経費や、法人市民税還付金等の経費について提案がされ審議がされました。委員会の中では、区民会議や区役所の設置に伴う職員の配置(福祉・土木部門等)について長時間にわたって質疑が交わさ

れました。審議の結果、区民会議の各区への設置については、慎重な審議が必要とのことから全委員一致で今回は否決となりました。また各区役所への職員配置の問題は、執行部から提案されている案では、市民サービスに影響が出るからと、さらには検討を求めました。

教育市民委員会 東田尻将博

補正予算中、学校敷地内に登記簿の所有権が個人名義のままになっていることで問題が発生し、城西中学校用地の所有権確認等に係る裁判が和解成立となった件で、いまだ同様のケースが多くあることについては、早急に登記簿の整理を行うことが求められました。

政令市にむけての組織改編に

より、教育委員会所管から外れる生涯学習や、文化財課、スポーツ振興部門などについては、一考する必要があるのではとの意見があり、当局からは、政令市になり、各区街づくりを進めていく中に生かして欲しいとの答弁がありました。政令市に向けての条例改正など、すべての案件が可決されました。

保健福祉委員会 福永洋一

生活保護受給者の増加に伴う生活保護費や老人福祉等に関わる補正予算の内容を中心に議論を行った。報告事項として、「第5期くまもとはつらつプラン(中間報告)」「第3期熊本市障がい福祉計画(案)」「くまもと医療都市2021グランドデザイン(素案)」「熊本市動物の愛護及び管理に関する条例(素案)」「保育所整備計画」「市民病院

の耐震対策の方向性」等が示された。市民連合としては、①生活保護の業務に見合う職員の確保と受給者の自立支援プログラムの策定②地域包括支援センターの役割の充実化③政令市に向けての各区役所等の医療と福祉部門の職員体制の整備④5月開催予定の「江津湖マンス(仮称)」の内容の充実化等について意見・要望を行った。

環境水道委員会 上田家入安弘

本年9月議会で、予算執行が凍結されていた「上下水道総合管理システム」については、新システム開発の23カ月間延長と、その23カ月間のシステム運用が確保できたことにより一定の解決を見ました。しかし、発注側である上下水道局の責任もあり、今後の公共事業の契約のあり方や、本市職員の技術力・専

門性について大きな課題を残す結果となっています。競争入札や総合評価方式のあり様など、しっかりとチェックしていきます。また、3町合併による上水道拡張計画の変更も報告され、平成40年までに約430億円を投じ整備されます。多くの時間と経費を要することからも、その進捗管理にも努めていきます。

経済委員会 田上辰也

植木町今藤工業団地整備経費について、前回の指摘を受けて精査した予算が今回提案された。しかし、経済委員の中に再び新たな条件を付けた意見のとりまとめをしようとする動きがあった。工業団地の売却が困難との判断については現段階では拙速であり、また合併時に合意した新市基本計画の事業費に言及し

ていることは信義に反するものと判断した。よって、意見の取りまとめには同調しなかった。このほか、城彩苑オープンに伴い運行しているシャトルバスの改善、商店街等プレミアム付商品券発行の助成、江津湖マンスの開催などについて意見要望があった。食肉センター移転について副市長より報告を受けた。

都市整備委員会 西岡誠也

熊本城、通町・桜町周辺、新町・古町、熊本駅周辺を対象区域とする市中心市街地活性化基本計画の2期目(2012～2016年度)の素案の提示があり、事業費は継続分が約1千億円で、全体は未確定となっています。シンボルロード(交通センター前の通り)を歩行者専用空間とする計画も盛り込まれていますが、連

動する桜町・花畑地区の再開発事業が景気低迷などで遅れている状況です。また、今年4月から市街地調整区域の製造業の工業団地立地に関する開発基準を県並みに緩和し、2車線以上の国道市道沿線で一定の要件をクリアした場所に拡大し、工業団地の一区画の敷地も5百平方メートル以上に緩和されます。

みなさん
こんにちは

熊本市議会議員 田尻将博からあなたへ



新春を迎え、61歳の新たな決意で今年も元気に活動を展開します。昨年、東日本大震災、福島第一原発事故による周辺地域の放射能被害は、未曾有の大

政令市になってよかったと実感できる市政を

あけましておめでとうございます。今年も元気で頑張ります。

事件であり、日本が元気を無くした一年、そして日本中が「がんばれ日本」を合言葉に、一丸となって邁進した年でもありました。さて、熊本市は明治4

人口を有し、本年4月1日全国20番目、九州で3番目の政令市となり、新たな歴史の幕開けを迎えます。12月議会は政令市を迎えるための区役所の機構や区

し、とりわけ区役所土木セクター業務は市民生活の前線基地であり、良かったと実感できなければなりません。しかし、県からの権限

市民の皆さんが「政令市になって良かった」の声を聴けるように今年も頑張ります。



特別支援学校設置に向けて議論始まる 4月から「企画教育委員会」へ改称

教育市民委員会

当委員会の付託議案は教育委員会と市民生活局で、政令市移行後は、市民生活局の企画部門を除いて市民サービス業務が区役所に移管され、本庁の市民生活局は廃止、福祉関係業務も含め近くで便利な区役所が誕生します。

当委員会の主な議論内容について報告します。教育委員会は、すでに昨年「観光文化交流局」が発足し、社会体育関係、文化財関係が市長部局へ移管されており、4月から生涯学習課の図書館を除く、青少年教育係、野外教育施設(金峰山・阿蘇施設)が移管されます。教育委員会は学校教育関係に特化した組織となります。

補正予算では小中学校の敷地内に存在する民有地の所有権移転訴訟の和解金であり、現在民有地や公有地が126筆存在し、早期の所有権移転について議論、また、懸案事項だった、市立の特別支援学校について報告を受け、設置の方向性として、通常学級・通級指導教室・特別支援学級・特別支援学校という連続体の中で「多様な学びの場」を確保していくためには、熊本市の子どもやその保護者の二



西区の区役所の建設工事も着々と進んでいます

ズから、市立の特別支援学校が必要であると方向付け今後具体的な議論が始まります。

市民生活局は4月に廃止され、本庁の企画振興局と区役所の総務企画課・まちづくり推進課・区民課に移行され、委員会の名称は「企画教育委員会」となります。

条例関係では熊本市暴力団排除条例の制定(9月議会だよりで報告)、熊本市市民公益活動支援基金条例の制定、この条例は市民や団体から寄付金を集め、地域活動やNPO団体へ活動資金の提供を行う条例です。

当委員会は3月議会を最後に組織改正され、区役所を管轄する委員会となります。

ご存知ですか「全国議長会」各種総会に出席 議長を支え「市議会の顔」として奮闘

副議長活動記

副議長の重責を担って早7カ月、議長(副議長)の担当業務は各種総会や大会のあいさつをはじめ、周辺自治体と共同で、有明海沿岸道路、地域高規格道路熊本環状道路、国道3・57号線バイパス、九州横断自動車道、中九州高規格道など、市長と議長が会員となって期成会をを結成、早期実現のため、国交省や九州の出先機関へ要望活動などを展開しています。

また全国の市議会で構成する、全国市議会議長会が組織され、部門別政策活動、広報活動、調査活動、研修会、共済などの活動が展開されています。

私が代理出席した、本市に関係ある機関は、全国議長会基地協議会の全国総会や九州部会で、自衛隊基地を抱える自治体の相互連携、予算の確保などの活動があります。

津田議長に代わり東京開催の全国総会、都城市での開催の九州部会総会に出席し、自衛隊駐屯地などを視察しました。

また、全国競輪主催地議会議長会という組



都城市の自衛隊都城市を視察。20年前の普賢岳火砕流と、東日本大震災で活躍した隊員輸送車です

織があり、全国の競輪場を保有する市議会で構成され、総会や地域部会を開催し経営情報、施設視察などの交流を行う全国総会、九州部会に出席しました。

昨年8月15日は全国戦没者追悼式、天皇陛下を始め菅内閣の総理大臣と閣僚が出席し、式典が開催されその式に代理出席しました。

議長会には、全国議長会、中核市議長会、公営交通事業都市議長会など、各種様々な協議会や期成会などがあり「熊本市議会の顔」として津田議長が奮闘しており、重複した日程を議長代理として後方支援の副議長が担務しております。

市政に関するご意見やご相談、また地域のご要望などはお気軽にどうぞ!

熊本市議会議員 **田尻 将博**

〒860-0061 熊本市上高橋2丁目8番16号
TEL329-4339 FAX329-4778
http://www.masahiro-chan.jp
E-mail:masahiro-tajiri@tkz.bbq.jp

に結びつき、雲や雨水をつかさどる神として信仰されている◆前三世紀ごろの中国の説話では、自由に天上を飛行する竜は、人間のいかなる物事も見通し、天子がよく国家を治めれば風雨を順調にし、魚産を豊かに恵むと信じられていた◆近年の今年は、政治が東日本の被災地の皆さんや、国民の声にしっかりと耳を傾け、大震災や原発事故の教訓を生かしてくれれば、竜が日本列島が安穏になるよう守ってくれるに違いない。そう思いたい年の始めだ。



◆昨年は、東日本大震災と原発事故で忘れられない一年となった。復旧と復興、再建は今年も続いていく◆今年の干支は「辰」。竜や龍をあてているが、西洋では悪の象徴として扱われ、ギリシャでは恐怖の対象となり、相手を恐れさせるために軍旗や盾の文様とされた。しかし、一般的には欧州では悪としての性格が強い◆中国では麒麟、鳳凰、亀と共に四霊の一つに数えられ、竜神信仰と説話は日本にもたらされた。龍は祥瑞のしるしとされ、また海神、水神として神聖化された。竜神は農耕儀礼

手取本町1の1